

与那原中学校 理科シラバス 3学年

1 授業のねらい(身に付けて欲しい力)

教科書名「新しい科学」

- ・理科に関する基礎的な知識を獲得するとともに、科学的思考力を培う。
- ・理科(自然科学)の各分野に興味・関心を持ち、その中から問題を見出す力を培う
- ・課題に対して仮説を立て、その仮説が成り立つことを実証する力を培う。
- ・見通しをもって学習に取り組む力を培う。

2 授業の進め方

- ・教科書の内容を中心に進める。ICT 機器を用いた授業を展開する。
- ・ビフォーアフターシートやワークなどを用意し、思考力・判断力・表現力を養う。
- ・生徒実験や演示実験、視聴覚教材などを通して内容の理解を深める。
- ・個人、ペア、全体の段階的な学び合いを効果的に活用する。

3 学習上の留意点

- ・授業では先生の説明を聞き、積極的に参加する。
- ・実験・観察の記録は正確に行う。
- ・配付されるプリントや単元テストはファイルにとじ、いつでも見られるようにしておく。
- ・実験や観察では、先生の指示に従い、安全に配慮して積極的に取り組む。
- ・ノートの見直しや、解けなかった問題に再度取り組む。

4 補助教材の活用方法(自学自習の進め方)

- ・ノートやワークを用いて授業内容理解をする。
- ・タブレットドリルを用い復習し内容理解を深める。

5 テスト

- ・章または単元ごとに25分間で50点満点の単元テストを行う。
 - ・年に3回、50分間で総合テストを行う(8月100点、10月60点、2月60点)。
 - ・各テストでは、知識を問うだけでなく、知識を活用した思考力・判断力・表現力を問う問題を含む。
- ※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、総合的に学習状況を評価する。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・実験・観察のパフォーマンステスト ・ノート ・単元テスト	・ICT 利用も含む各種提出物 ・単元テスト	・ワーク ・ビフォーアフターシート
方法	評価内容の項目ごとの満点に対して A : 80%以上 B : 40%以上80%未満 C : 40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して『知識・技能』の評価とします。	評価内容の項目ごとの満点に対して A : 80%以上 B : 40%以上80%未満 C : 40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して『思考・判断・表現』の評価とします。	評価内容の項目ごとの満点に対して A : 80%以上 B : 40%以上80%未満 C : 40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して『主体的に学習に取り組む態度』の評価とします。

7 授業計画(見通しを持って予習・復習の自学学習に取り組みましょう。提出物も忘れずに!)

期	月	単元名・学習項目	テストの日程	到達目標
1 学 期	4	単元 2：生命の連続性 第 1 章 生物の成長と生殖	日付 ・ 範囲	・ 体細胞分裂と生物の成長について理解する。
		第 2 章 遺伝の規則性と遺伝子	・ 時間と得点	・ 遺伝の規則性と遺伝子についてメンデルの法則や減数分裂などを通して理解する。
	5	第 3 章 生物の多様性と進化	6 月 2 日 (火) ・ 単元 2 すべて ・ 25 分 50 点	・ 生物の進化とそれに伴う多様性と自然環境の保全の意義を理解する。
	6	単元 1：化学変化とイオン 第 1 章 水溶液とイオン	6 月 16 日 (火) ・ 第 1 章と 化学反応式 ・ 25 分 50 点	・ 原子構造やイオンについて学ぶ。 ・ 水溶液には電流が流れるものとながれないものがあることを見いだして理解する。
	7	第 2 章 酸、アルカリとイオン		・ 酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを理解する。 ・ 中和の化学変化をイオンと関連づけて理解する。
	8		8 月 31 日 (月) ・ 単元 1 すべて ・ 50 分 100 点	・ 金属の種類によるイオン化の違いを学習し、電池の原理を理解し作成する。
	9	第 3 章 化学変化と電池		・ 物体の進行方向に力がはたらく、はたらかないで速度がどのように変化するか理解する。
		単元 3：運動とエネルギー 第 1 章 物体の運動		
		第 2 章 力のはたらき方		
2 学 期	10	第 2 章 力のはたらき方	町学力調査 10 月 28 日 (水) ・ 1 年から 3 年の単元 1, 2 まで ・ 50 分 60 点	・ 物体に 2 つの力がはたらく様子を力の合成、慣性の法則、浮力などの現象をとおして理解する。
	11	第 3 章 エネルギーと仕事		・ エネルギーの変換と仕事について理解する
		単元 4 地球と宇宙 第 1 章 地球の運動と天体の動き	単元テスト 12 月 8 日 (火) ・ 単元 3 すべて ・ 50 分 100 点	・ 太陽や星の 1 日の動きの基本について理解する ・ 太陽との位置関係から時刻や方位を理解する。
	12			
	1	第 2 章 月と金星の見え方		・ 月や金星の満ち欠けを理解する。
		第 3 章 宇宙の広がり		・ 太陽系の惑星の特徴を理解する。
	2	単元 5 地球とわたしたちの未来のために 第 1 章 自然のなかの生物	模擬テスト 2 月 4 日 (木) 高校入試の模擬テスト ・ 1 年～3 年 ・ 50 分 60 点	・ 人の関わりの中で、自然環境のつり合いとその境の保全をどのようにしていくか考える。
	3	第 2 章 自然環境の調査と保全		・ 科学技術がもたらした豊かさと問題について考え、持続可能な社会の実現に向けてどう行動するか考える。
		第 3 章 科学技術と人間 終章 持続可能な社会のために		